

基調講演 「臨床からの研究、そして臨床への還元」

関西理学療法学会 会長、 関西医療大学大学院 鈴木俊明先生

私は、養成校を卒業した時点では研究をするような理学療法士になるとは思っていませんでした。神経疾患の理学療法を熱心におこない一人でも多くの患者さんを治したいと思っていただけでした。

理学療法士としての様々な経験から疑問を抱くようになり、その解決が研究活動につながってきたわけです。今回の基調講演では、私の研究の過程を臨床の疑問とともにお話したいと思います。私の話から、少しでも多くの会員が臨床の疑問を研究で解決できるようになって欲しいと思います。